

大学番号：私058

注3

[平成22年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

筑波学院大学 経営情報学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 東京家政学院
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	企画グループ
職名・氏名	課長 コミヤマ 込山 弥彦 主任 コマツ 小松 タイスケ 泰亮
電話番号	03-3262-2254
(夜間)	03-3262-2251
F A X	03-3262-2174
e-mail	kikaku-g@kasei-gakuin.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 東京家政学院

(2) 大学名

筑波学院大学

(3) 大学の位置

〒305-0031

茨城県つくば市吾妻3丁目1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヤマグチ タカシ) 山口 孝 (平成20年6月)		
学長	(ミツイシ ゼンキチ) 三石 善吉 (平成19年4月)	(オオシマ チカコ) 大島 慎子 (平成24年4月)	任期満了による交替(学 長選挙による) (24)
学部長	(ヨシダ マスミ) 吉田 眞澄 (平成22年4月)	(ヨコセ ヒロユキ) 横瀬 弘幸 (平成22年4月)	任期満了による交替(学 部長選挙による) (22)
		(カキハナ キョウコ) 垣花 京子 (平成24年4月)	任期満了による交替(学 部長選挙による) (24)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成 2 3 年度に報告済の内容 → (23)

平成 2 5 年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経営情報学部 経営情報学科 学士(経営情報)	4年	200人	- 年次人	800人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	200 (-) [-]	-	200 (-) [-]	-	200 (-) [-]	-	200 (-) [-]	-	0.63倍	()内は 2・3年次編入学
志願者数	125 (-) [12]	- (-) [-]	159 (1) [9]	- (-) [-]	211 (3) [13]	- (-) [-]	142 (0) [9]	- (-) [-]		
受験者数	125 (-) [11]	- (-) [-]	156 (1) [8]	- (-) [-]	200 (3) [12]	- (-) [-]	133 (0) [6]	- (-) [-]		
合格者数	119 (-) [8]	- (-) [-]	155 (1) [8]	- (-) [-]	196 (3) [9]	- (-) [-]	131 (0) [6]	- (-) [-]		
B 入学者数	107 (-) [7]	- (-) [-]	139 (1) [8]	- (-) [-]	165 (3) [9]	- (-) [-]	99 (0) [6]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	0.53		0.69		0.82		0.49			

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[7] 107	[-] -	[8] 139	[-] -	[9] 165	[-] -	[6] 98	[]	
2年次	/		[6] 98	[-] -	[9] 134	[-] -	[9] 162	[]	
3年次			/		/		[6] 90	[-] -	[10] 131
4年次	/						/		/
計			[7] 107	[14] 237	[24] 389	[31] 480			

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	107 人	22 人	平成22年度	10 人	1 人	就学意欲の低下(1人),就職(5人),家庭の事情(2人),除籍(2人)	0.2 %
			平成23年度	10 人	2 人	除籍(5人),家庭の事情(3人),就職(1人),他の教育機関への入学・転学(1人)	
			平成24年度	2 人	0 人	自己都合(1人)、家庭の事情(1人)	
			平成25年度	0 人	0 人		
平成23年度 入学者	140 人	9 人	平成23年度	6 人	0 人	除籍(4人),就職(1人),家庭の事情(1人)	0.1 %
			平成24年度	3 人	0 人	除籍(2人)、就学意欲の低下(1人)	
			平成25年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	168 人	3 人	平成24年度	3 人	0 人	除籍(1人)、病気(1人)、進路変更(1人)	0 %
			平成25年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	99 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0 %
合 計	514 人	34 人					0.1 %

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<経営情報学部 経営情報学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合教養科目	人文科学科目A	1・2前後 1・2前		2		1	2					兼1 教育効果を上げるため変更(22)	
	人文科学科目B	1・2前後 1・2前		2			3					教育効果を上げるため変更(22)	
	人文科学科目C	1・2前後 1・2前		2		2	1					兼1 教育効果を上げるため変更(22)	
	自然科学科目A	1・2前後 1・2前		2		1						兼2 教育効果を上げるため変更(22)	
	自然科学科目B	1・2前後 1・2前		2		1		+				兼2 教育効果を上げるため変更、担当教員の昇任による変更(22)	
	自然科学科目C	1・2後		2		1		+		+		担当教員の昇任による変更(25) 担当教員の昇任による変更(22)	
	社会科学科目A	1・2前後 1・2前		2								兼3 教育効果を上げるため変更(22)	
	社会科学科目B	1・2前		2		1	1						
	社会科学科目C	1・2前後 1・2後		2			1					兼1 教育効果を上げるため変更(22)	
	学際科目A	3・4前後 3・4前		2		1				2	3	兼1 専任講師の退職による(25) 教育効果を上げるため変更(24)	
	学際科目B	3・4前後 3・4前		2		1	1			+		専任講師の退職による(25) 教育効果を上げるため変更(24)	
	学際科目C	3・4前後 3・4後		2		3						教育効果を上げるため変更(24)	
	学際科目D	3・4前後 3・4後		2		2	1			3		兼2 教育効果を上げるため変更(24) 担当教員の昇任による変更(22)	
	小計(13科目)	-		0	26	0	8 7 6	5 4 6	1 3	0	0	兼12 兼11	
総合教養科目群	教養基礎科目	英語A	1前後 1前	2			2					教育効果を上げるため変更(22)	
		英語B	1前後 1後	2			2					教育効果を上げるため変更(22)	
		数学	1後	2			2	1					
		日本語A	1前	2				1	1				
		日本語B	1後	2				1	1				
		日本語聴解・会話A	1前		2			1					
		日本語聴解・会話B	1後		2			1					
		日本語読解・作文A	1前		2					1			
		日本語読解・作文B	1後		2					1			
		スポーツA	1・2前		1						+	+	兼1 担当教員の退職による変更(25) 担当教員の育児休業終了による変更(23) 兼1 担当教員の育児休業による変更(22)
		スポーツB	1・2後		1						+	+	兼1 担当教員の退職による変更(25) 担当教員の育児休業終了による変更(23) 兼1 担当教員の育児休業による変更(22)
		テニスA	1・2前		1						+	+	兼1 担当教員の退職による変更(25) 担当教員の育児休業終了による変更(23) 兼1 担当教員の育児休業による変更(22)
		テニスB	1・2後		1						+	+	兼1 担当教員の退職による変更(25) 担当教員の育児休業終了による変更(23) 兼1 担当教員の育児休業による変更(22)
	小計(13科目)	-		10	12	0	6	2	1 2 1 2	0	0	兼1 兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
情報入門科目群	情報基礎科目	情報基礎A(文書処理)	1前	2				2	+			兼2 教育効果を上げるため変更(25)	
		情報基礎B(表計算)	1前	2			2		+			担当教員の退職による変更(25)	
		情報基礎C(インターネット)	1前	2			1	2	+			担当教員の昇任による変更(25)	
		情報検索	1後 1前	2			1	2	+			担当教員の昇任による変更(25) 教育効果を上げるため変更(24) 担当教員の昇任による変更(22)	
		情報科学入門	1前 1後	2			1	+				教育効果を上げるため変更(24) 担当教員の昇任による変更(22)	
		情報倫理	1後	2				1	+			担当教員の昇任による変更(25)	
		情報技術と職業	1後	2			1						
		小計(7科目)	-	14	0	0	4 3	2 3 4	0 3	0	0		
	言語基礎科目	コンピュータ言語入門A(PHP)	1後 1前		2			1				教育効果を上げるため変更(22)	
		コンピュータ言語入門B(マクロ)	1後		2		1						
		コンピュータ言語入門C(JAVASクリプト)	1前後 1前		2			1				教育効果を上げるため変更(22)	
		コンピュータ言語入門D(GASL)	1前後 1後		2		1	+				教育効果を上げるため変更、担当教員の昇任による変更(22)	
		小計(4科目)	-	0	8	0	2 1	2 3	0	0	0		
	専門基礎科目群	共通科目	メディアリテラシーA	未開講 2-3-4前		2							兼1 隔年開講とし、H25は未開講(25) 履修希望者がいなかったため(23)
メディアリテラシーB			2-3-4後		2							兼1	
デジタルアーカイブA			2-3-4前		2				+			兼1 担当者の退職による変更(25)	
デジタルアーカイブB			2-3-4後		2				+			兼1 担当者の退職による変更(25)	
プレゼンテーション			2-3-4前		2							兼1	
データベース1			2-3-4前		2		1						
データベース2			2-3-4後		2		1						
情報化とコミュニティ形成1			未開講 2-3-4前		2		1						履修希望者がいなかったため(23)
情報化とコミュニティ形成2			2-3-4後		2		1						
生活と情報1			未開講 2-3-4前		2			1					隔年開講とし、H25は未開講(25)
生活と情報2			未開講 2-3-4後		2			1					隔年開講とし、H25は未開講(25)
ファッションとグローバル化1			未開講 2-3-4前		2		1	+					隔年開講とし、H25は未開講(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23) 担当教員の昇任による変更(22)
ファッションとグローバル化2			未開講 2-3-4後		2		1	+					隔年開講とし、H25は未開講(25) 担当教員の昇任による変更(22)
フードシステム1			2-3-4前		2			1					
フードシステム2			2-3-4後		2			1					
情報化と社会			2-3-4前		2		1						
ユニバーサルデザイン1			2-3-4前		2		1						
ユニバーサルデザイン2			2-3-4後		2		1						
英文文書処理1			2-3-4前		2		1						
英文文書処理2			未開講 2-3-4後		2		1						隔年開講とし、H25は未開講(25)
ライフスパンと認知心理			2-3-4後		2					1			
ゲームデザイン1			2-3-4前		2					+			兼1 教員間の担当科目変更のため(25)
ゲームデザイン2			2-3-4後		2					+			兼1 教員間の担当科目変更のため(25)
シナリオ1			2-3-4前		2					+			兼1 教員間の担当科目変更のため(25)
シナリオ2			2-3-4後		2					+			兼1 教員間の担当科目変更のため(25)
マンガA			2-3-4前		2								兼1
マンガB			2-3-4前		2								兼1
キャラクターデザインA			2-3-4後		2								兼1
キャラクターデザインB			2-3-4後		2								兼1
ポップカルチャーA			2-3-4前		2								兼1
ポップカルチャーB			2-3-4後		2								兼1
メディアと文化			2-3-4前		2		1						
写真と文化	2-3-4後		2		1								
映像編集・制作A	未開講 2-3-4集		2								兼1 履修希望者がいなかったため(23)		
映像編集・制作B	2-3-4集		2								兼1		
国際コミュニケーションの実際1	未開講 2-3-4前		2			1					履修希望者がいなかったため(25)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門基礎科目群	共通科目	国際コミュニケーションの実際2	未開講 2-3-4後		2		1				履修希望者がいなかったため(25)	
		報道と取材1	2-3-4前		2		1					
		報道と取材2	2-3-4後		2		1					
		スポーツとマスメディア1	未開講 2-3-4前		2				+		兼1 担当教員の退職による担当者変更(25)	
		スポーツとマスメディア2	未開講 2-3-4後		2				+		兼1 隔年開講とし、H25は未開講(25) 担当教員の退職による担当者変更(25)	
		世界遺産A	2-3-4前		2			1				
		世界遺産B	2-3-4後		2			1				
		機械CAD1	未開講 2-3-4前		2							兼1 隔年開講とし、H25は未開講(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23)
		機械CAD2	未開講 2-3-4後		2							兼1 隔年開講とし、H25は未開講(25)
		住宅CAD1	2-3-4前		2			1				
		住宅CAD2	2-3-4後		2			1				
		プログラミング(JAVA)1	2-3-4前		2				1			
		プログラミング(JAVA)2	2-3-4後		2				1			
		プログラミング(VB)1	2-3-4前		2				1			
		プログラミング(VB)2	2-3-4後		2				1			
		情報数理解析	2-3-4前		2				1	+		担当教員の昇任による変更(25)
		福祉住環境実務	2-3-4前		2			1				
		マルチメディア	2-3-4前		2				1			
		情報システム	2-3-4後		2				1			
		CG概論1	2-3-4前		2			1				
		CG概論2	2-3-4後		2			1				
		画像処理概論	2-3-4後		2			1				
		イラストレーション1	2-3-4前		2					+		兼1 担当教員の退職による変更(25)
		イラストレーション2	2-3-4後		2					+		兼1 担当教員の退職による変更(25)
		DTP1	2-3-4前		2							兼1
		DTP2	2-3-4後		2							兼1
		アルゴリズム	2-3-4前		2			1				
		情報数学	2-3-4後		2			1				
		データ分析と統計1	2-3-4前		2			1				
		データ分析と統計2	2-3-4後		2			1				
		知的財産権	2-3-4前		2							兼1
		情報活用と危機管理	2-3-4後		2				1			
		ビジネスコミュニケーション1	2-3-4前		2			1				
		ビジネスコミュニケーション2	2-3-4後		2			1				
		ビジネス実務	2-3-4後		2			1	+			担当教員の昇任による変更(22)
		経営戦略	未開講 2-3-4前		2							兼1 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23)
		会社法	2-3-4後		2							兼1
		財政学	未開講 2-3-4前		2							兼1 隔年開講とし、H25は未開講(25)
		経営財務	2-3-4後		2							兼1
		経営分析	2-3-4前		2							兼1
		都市の経営A	2-3-4前		2			1				
		都市の経営B	2-3-4前		2			1				
		経営シミュレーション1	2-3-4前		2							兼1
		経営シミュレーション2	2-3-4後		2							兼1
		国際経済とマスコミ1	2-3-4前		2			1				
国際経済とマスコミ2	2-3-4後		2			1						
経済と社会A1	2-3-4前		2				1					
経済と社会A2	2-3-4後		2				1					
経済と社会B1	2-3-4前		2			1						
経済と社会B2	2-3-4後		2			1						
経済と社会C1	2-3-4前		2				1					
経済と社会C2	2-3-4後		2				1					
交通・流通の経済1	2-3-4前		2			1						
交通・流通の経済2	2-3-4後		2			1						
証券アナリスト	未開講 2-3-4前		2				1			履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24)		
観光事情1	2-3-4前		2			1						
観光事情2	2-3-4後		2			1						
旅行業法1	2-3-4前		2			1						
旅行業法2	2-3-4後		2			1						
旅行実務	2-3-4後		2			1						
観光心理学	後 2-3-4前		2				+			兼1 担当教員が学長になったことによる変更(24)		
国際観光政策	2-3-4後		2				+			兼1 担当教員が学長になったことによる変更(24)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目群	共通科目	観光と国際理解	未開講 2・3・4前		2		4					兼1 隔年開講とし、H25は未開講(25) 担当教員が学長になったことによる変更(24)
		国際観光情報論	前 2・3・4後		2		4					兼1 担当教員が学長になったことによる変更(24)
		ホスピタリティマネジメント1	2・3・4前		2		4					兼1 担当教員が学長になったことによる変更(24)
		ホスピタリティマネジメント2	2・3・4後		2		4					兼1 担当教員が学長になったことによる変更(24)
		観光情報1	2・3・4前		2		1					
		観光情報2	2・3・4後		2		1					
		観光と文化1	未開講 2・3・4前		2		1					隔年開講とし、H25は未開講(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23)
		観光と文化2	未開講 2・3・4後		2		1					隔年開講とし、H25は未開講(25)
		観光と経済発展1	未開講 2・3・4前		2		1	+				履修希望者がいなかったため(24) 担当教員の昇任による変更(22)
		観光と経済発展2	2・3・4後		2		1	+				担当教員の昇任による変更(22)
		経済協力とエスニックビジネス1	未開講 2・3・4前		2		1	+				履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23) 担当教員の昇任による変更(22)
		経済協力とエスニックビジネス2	未開講 2・3・4後		2		1	+				履修希望者がいなかったため(25) 担当教員の昇任による変更(22)
		労働移動と経済1	未開講 2・3・4前		2		1	+				履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23) 担当教員の昇任による変更(22)
		労働移動と経済2	2・3・4後		2		1	+				担当教員の昇任による変更(22)
		経済安全保障1	2・3・4前		2			1				
		経済安全保障2	2・3・4後		2			1				
		余暇社会学1	未開講 2・3・4後		2		1					履修希望者がいなかったため(23)
		余暇社会学2	2・3・4前		2		1					
		経済史1	2・3・4前		2		1					
		経済史2	2・3・4後		2		1					
		交通・流通史1	2・3・4前		2		1					
		交通・流通史2	2・3・4後		2		1					
		経済思想	2・3・4前		2		1					
		国際ビジネスとカントリーリスク概論	2・3・4前		2			1				
		危機管理概論	2・3・4後		2			1				
		E-ビジネス1	未開講 2・3・4前		2							兼1 隔年開講とし、H25は未開講(25) 履修希望者がいなかったため(23)
E-ビジネス2	未開講 2・3・4後		2							兼1 隔年開講とし、H25は未開講(25)		
コンピュータ会計	2・3・4後		2							兼1		
小計(126科目)		-	0	252	0	15 13	7 6 8	1 5	0	0	兼21 兼17 兼14	
専門基礎科目	メディアデザイン	3次元表現A	2前		2		1					
		3次元表現B	2後		2		1					
		グラフィックデザインA	2前		2				1			
		グラフィックデザインB	2後		2				1			
		デザイン基礎A	2前		2				+		兼1 担当教員が退職し、兼任教員として担当(25)	
		デザイン基礎B	2後		2				+		兼1 担当教員が退職し、兼任教員として担当(25)	
		アニメと映像A	2前		2				+		兼1 教員間の担当科目変更のため(25)	
		アニメと映像B	2後		2				+		兼1 教員間の担当科目変更のため(25)	
		アニメーションA	2前		2				1			
		アニメーションB	2後		2				1			
		人間の情報表現A	2前		2		1					
		人間の情報表現B	2後		2		1					
		マスメディアA	2前		2		1					
		マスメディアB	2後		2		1					
		メディア編集A	2前		2		1					
		メディア編集B	2後		2		1					
映像と文化A	2前		2		1							
映像と文化B	2後		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目群	メディアデザイン	人間の情報処理A	2前		2				1				
		人間の情報処理B	未開講 2後		2				1				隔年開講とし、H25は未開講(25)
		小計(20科目)	-	0	40	0	3	0	2 3	0	0	0	兼2
	システム開発	EーラーニングA	2前		2		1						
		EーラーニングB	2後		2		1						
		表現と伝達A	2前		2			1					
		表現と伝達B	2後		2			1					
		プログラミング(O言語)A	2前		2			1		+			担当教員の昇任による変更(25)
		プログラミング(O言語)B	2後		2			1		+			担当教員の昇任による変更(25)
		WEBデザインA	2前		2			1					
		WEBデザインB	2後		2			1					
		ロボットA	2前		2		1						
		ロボットB	2後		2		1						
		福祉住環境システムA	2前		2		1						
		福祉住環境システムB	2後		2		1						
		ネットワーク活用A	2前		2			1					
		ネットワーク活用B	2後		2			1					
		組込コンピューティングA	2前		2		1		+				担当教員の昇任による変更(22)
	組込コンピューティングB	2後		2		1		+				担当教員の昇任による変更(22)	
	情報調査法A	2前		2			1		+			担当教員の昇任による変更(25)	
	情報調査法B	2後		2			1		+			担当教員の昇任による変更(25)	
	小計(18科目)	-	0	36	0	4 3	3 2 3	+	0	0	0		
	経営経済	マーケティングA	2前		2		1						
		マーケティングB	2後		2		1						
簿記会計A		2前		2								兼1	
簿記会計B		2後		2								兼1	
経営概論A		2前		2		1							
経営概論B		2後		2		1							
ビジネスIT活用A		未開講 2前		2		1						履修希望者がいなかったため(23)	
ビジネスIT活用B		2後		2		1							
金融A		2前		2			1						
金融B		2後		2			1						
航空ビジネスA		2前		2		1							
航空ビジネスB		2後		2		1							
ホテルマネジメントA		2前		2			+					兼1 担当教員が学長になったことによる変更(24)	
ホテルマネジメントB		2後		2			+					兼1 担当教員が学長になったことによる変更(24)	
スポーツ産業A		2前		2				1					
スポーツ産業B		2後		2				1					
アグリビジネスA	2前		2			1							
アグリビジネスB	2後		2			1							
国際経済A	2前		2								兼1		
国際経済B	2後		2								兼1		
マクロ経済A	未開講 2前		2			1					履修希望者がいなかったため(23)		
マクロ経済B	2後		2			1							
ミクロ経済A	2前		2			1							
ミクロ経済B	2後		2			1							
小計(24科目)	-	0	48	0	4	2	1	0	0	0	兼3 兼2		
専門発展科目群	メディアデザイン	バーチャルリアリティ	3通		4		1						
		視覚伝達デザイン	3通		4				1				
		マンガ・アニメ	3通		4				1				
		マスコミュニケーション	3通		4		1						
		映像記録	3通		4		1						
		教育とメディア	廃止 3通		4		+						担当教員の退職に伴う、廃止科目(25)
		認知心理と情報活用	3通		4				1				
		小計(7科目) 6	-	0	28 24	0	3 4	0	3	0	0	0	
	システム開発	WEBコンテンツ	3通		4		1						
		WEB表現と活用	3通		4			1					
		WEBシステム	3通		4			1					
		コンピュータシステム	3通		4		1		+				担当教員の昇任による変更(22)
		システムデザイン	3通		4			1		+			担当教員の昇任による変更(25)
		ロボットセラピー	3通		4		1						
		自立生活デザイン	3通		4		1						
小計(7科目)	-	0	28	0	4 3	3 2 3	+	0	0	0			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門発展科目群	発展科目 経営経済	サービスマーケティング	3通		4		1					兼1 担当教員の退職による変更(25)	
		都市経済とビジネス	3通		4		1						
		スポーツビジネス	3通		4				+				
		グローバルビジネス	3通		4		1						
		金融経済分析	3通		4			1					
		観光ビジネス	3通		4		1						
		国際政治経済	3通		4			1					
		食と農の経済	3通		4			1					
		小計(8科目)	-	0	32	0	4	3	+	0	0		
	卒業研究	卒業研究	4通	4			12 11	6 5 6	2 5			担当教員の退職による変更(25) 担当教員の昇任による変更(25) 担当教員の昇任による変更(22)	
小計(1科目)		-	4	0	0	12 11	6 5 6	2 5	0	0	担当教員の退職による変更(25) 担当教員の昇任による変更(25) 担当教員の昇任による変更(22)		
キャリア形成科目	実践科目A	1通	2			1 2	3 2	2			教員間の担当科目変更(25)		
	実践科目B	2通	2			1 2	3 2	2			教員間の担当科目変更(25)		
	実践科目C1	3前		1		2 1	1 2	1			担当教員の昇任による変更(22)		
	実践科目C2	3後		1		2 1	1 2	1			担当教員の昇任による変更(22)		
	キャリアデザインA	2前		2							兼1 兼1 兼1 兼1		
	キャリアデザインB	2後		2									
	キャリアデザインC	3前		2									
	キャリアデザインD	3後		2									
	インターンシップ	2・3通		2			1						
	自己分析と評価	2・3前		2				1					
小計(10科目)	-	4	14	0	3 4	2 3	3	0	0	兼1			
進路支援科目群	英語コミュニケーション科目	オーラルA	1・2前 未開講		2		1					履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23)	
		オーラルB	2・3前		2		1						
		オーラルC	2・3後		2		1						
		リーディングA	1・2後		2		+					兼1 担当教員の退職による変更(23)	
		リーディングB	未開講 2・3前		2		+					兼1 隔年開講とし、H25は未開講(25) 兼1 担当教員の退職による変更(23) 履修希望者がいなかったため(23)	
		リーディングC	2・3後		2		+					兼1 担当教員の退職による変更(23)	
		ライティングA	2・3前		2		1						
		ライティングB	2・3後		2		1						
		コミュニケーション英文法A	1前		2		1						
		コミュニケーション英文法B	1後		2		1						
		実用英語A(英検準2級)	1前		2		+					兼1 教員間の担当科目変更のため(25) 兼1 教員間の担当科目変更のため(23)	
		実用英語B(英検2級)	1後		2		+					兼1 教員間の担当科目変更のため(25) 兼1 教員間の担当科目変更のため(23)	
		実用英語C(TOEIC500)	1前		2		+					兼1 担当教員の退職による変更(23)	
		実用英語D(TOEIC600)	1後		2		+					兼1 担当教員の退職による変更(23)	
		時事英語A	未開講 2・3・4前		2		1						履修希望者がいなかったため(25)
		時事英語B	未開講 2・3・4後		2		1						履修希望者がいなかったため(25)
		英語初級A	1・2前		2		1						
		英語初級B	1・2後		2		1						
		インターネット英語A	2・3前		2		1						
		インターネット英語B	未開講 2・3後		2		1						隔年開講とし、H25は未開講(25)
		ビジネス英語A	2・3前		2		1						
		ビジネス英語B	2・3後		2		1						
		児童英語A	2・3・4前		2		1						
児童英語B	2・3・4後		2		1								
ディスカッション&ディベートA	2・3・4前		2		1								
ディスカッション&ディベートB	2・3・4後		2		1								
英語学概論	未開講 2・3前		2								兼1 受講希望者がいなかったため(25) 兼1 受講希望者がいなかったため(24)		
英語音声学	廃止 2・3後		2								兼1 受講者の見込が無かったため(23)		
英米文学基礎演習1	廃止 2・3前		2		+						受講者の見込が無かったため(23)		
英米文学基礎演習2	廃止 2・3後		2		+						受講者の見込が無かったため(23)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
英語コミュニケーション科目	英米文学演習1	未開講 3-4前		2		+						兼1 受講希望者がいなかったため(25) 受講希望者がいなかったため(24) 担当教員が退職し、兼任教員として担当(23)
	英米文学演習2	未開講 3-4後		2		+						兼1 受講希望者がいなかったため(25) 担当教員が退職し、兼任教員として担当(23)
	イギリス文学史	廃止 2-3前		2		+						受講者の見込が無かったため(23)
	アメリカ文学史	未開講 2-3後		2								兼1 受講希望者がいなかったため(25)
	国際コミュニケーションの基礎	1-2後		2		1						
	イギリスの社会と文化	廃止 2-3前		2		+						受講者の見込が無かったため(23)
	アメリカの社会と文化	未開講 2-3後		2		1						隔年開講とし、H25は未開講(25)
	海外研修英語	1-2・3通		2		1						
	小計(39科目) 33	-	0	76 66	0	3 4	0	0	0	0	0	兼3 兼2
	進路支援科目群 資格科目	教職概論	1-2前		2		1					
教育学概論		1-2後		2		1						
生涯学習概論		2-3前		2								兼1
教育哲学		廃止 2-3後		2		+						担当教員の退職により、教職課程を変更したため(25)
教育心理学		1-2前		2				1				
教育社会学		1-2後		2								兼1
比較教育制度論		未開講 2-3前		2		1						履修希望者がいなかったため(25)
教育課程論		2-3後		2								兼1
情報科教育法1		3前		2								兼1
情報科教育法2		3後		2								兼1
情報科教材研究 情報科教材研究1		2-3前		2								兼1 教職課程の変更による科目名変更(25)
情報科教材研究2		廃止 2-3後		2								兼1 教職課程の変更による(25)
情報教育概論		2前		2								兼1
道德教育		1-2前		2		+						兼1 担当教員の退職による変更(25)
特別活動研究		1-2後		2								兼1
視聴覚教育法		1-2前		2								兼1
教育方法論		1-2後		2		+						兼1 担当教員の退職による変更(25)
生徒・進路指導法		2-3前		2								兼1
教育相談		2-3後		2				1				兼1 教員間の担当科目変更のため(25)
教職実践演習		4後		2		+		1				担当教員の退職による変更(25)
事前事後指導		4通		2		+		1				担当教員の退職による変更(25)
教育実習		4通		2		+		1				担当教員の退職による変更(25)
博物館概論		2-3前		2								兼1
博物館資料論		2-3前		2		1						兼1
博物館経営論		2-3前		2								兼1
博物館資料保存論		2-3後		2								兼1 博物館施行規則改正による新規科目(25)
博物館展示論		2-3後		2								兼1 博物館施行規則改正による新規科目(25)
博物館情報論	廃止 2-3後		2								兼1 博物館施行規則改正による科目変更(25)	
博物館実習	4通		3		1							
博物館教育論	1-2後		2								兼1 博物館施行規則改正による新規科目(24)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
進路支援科目群	資格科目	日本の文化と歴史	2・3前		2		1					兼1 博物館施行規則改正による科目変更(25)
		アジアの文化と歴史	2・3後		2		1					
		ヨーロッパの文化と歴史	2・3後		2			1				
		日本美術史	廃止 2・3前		2							
		西洋美術史	2・3後		2			1				
		日本の祭礼と芸能	2・3前		2		1					
		日本の民俗	2・3後		2		1					
		日本人の生活文化	2・3後		2			1				
		小計(35科目)		-	0	27 29	44 40	3	2	1	0	
合計(334科目)			-	32	627 629 615	44 40	17 18 19 17	8 7 9	3 6	0	0	兼49 兼44 兼42

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
14	317	0	331	14 [0]	310 [Δ7]	0 [0]	324 [Δ7]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	学際科目A（記憶のメカニズム）	2	3・4	一般	選択	専任教員間による担当科目変更により隔年開講とし、H25は未開講科目とした。(25)
2	学際科目B（コーチング論）	2	3・4	一般	選択	担当教員が退職したため、H25は未開講とした。(25)
3	メディアリテラシーA	2	2・3・4	専門	選択	履修希望者が少ないため隔年開講とし、H25は未開講科目とした。(25)
4	生活と情報1	2	2・3・4	専門	選択	専任教員間による担当科目変更により隔年開講とし、H25は未開講科目とした。(25)
5	生活と情報2	2	2・3・4	専門	選択	専任教員間による担当科目変更により隔年開講とし、H25は未開講科目とした。(25)
6	ファッションとグローバル化1	2	2・3・4	専門	選択	専任教員間による担当科目変更により隔年開講とし、H25は未開講科目とした。(25)
7	ファッションとグローバル化2	2	2・3・4	専門	選択	専任教員間による担当科目変更により隔年開講とし、H25は未開講科目とした。(25)
8	英文文書処理2	2	2・3・4	専門	選択	専任教員間による担当科目変更により隔年開講とし、H25は未開講科目とした。(25)
9	スポーツとマスメディア1	2	2・3・4	専門	選択	担当教員が退職したため、H25は未開講とした。(25)
10	スポーツとマスメディア2	2	2・3・4	専門	選択	担当教員が退職したため、H25は未開講とした。(25)
11	機械CAD1	2	2・3・4	専門	選択	履修希望者が少ないため隔年開講とし、H25は未開講科目とした。(25)
12	機械CAD2	2	2・3・4	専門	選択	履修希望者が少ないため隔年開講とし、H25は未開講科目とした。(25)
13	財政学	2	2・3・4	専門	選択	履修希望者が少ないため隔年開講とし、H25は未開講科目とした。(25)
14	観光と国際理解	2	2・3・4	専門	選択	科目内容が他科目重複しているため隔年開講とし、H25は未開講科目とした。(25)
15	観光と文化1	2	2・3・4	専門	選択	専任教員間による担当科目変更により隔年開講とし、H25は未開講科目とした。(25)
16	観光と文化2	2	2・3・4	専門	選択	専任教員間による担当科目変更により隔年開講とし、H25は未開講科目とした。(25)
17	E-ビジネス1	2	2・3・4	専門	選択	履修希望者が少ないため隔年開講とし、H25は未開講科目とした。(25)
18	E-ビジネス2	2	2・3・4	専門	選択	履修希望者が少ないため隔年開講とし、H25は未開講科目とした。(25)

19	人間の情報処理B	2	2	専門	選択	専任教員間による担当科目変更により隔年開講とし、H25は未開講科目とした。(25)
20	リーディングB	2	2	一般	選択	履修希望者が少ないため隔年開講とし、H25は未開講科目とした。(25)
21	インターネット英語B	2	2	一般	選択	専任教員間による担当科目変更により隔年開講とし、H25は未開講科目とした。(25)
22	アメリカの社会と文化	2	2	一般	選択	専任教員間による担当科目変更により隔年開講とし、H25は未開講科目とした。(25)

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	英語音声学	2	2・3後	一般	選択	担当専任教員が退職したため、開講について検討したところ履修希望者の見込が無いため廃止することにした。(23)
2	英米文学基礎演習1	2	2・3前	一般	選択	担当専任教員が退職したため、開講について検討したところ履修希望者の見込が無いため廃止することにした。(23)
3	英米文学基礎演習2	2	2・3後	一般	選択	担当専任教員が退職したため、開講について検討したところ履修希望者の見込が無いため廃止することにした。(23)
4	イギリス文学史	2	2・3前	一般	選択	担当専任教員が退職したため、開講について検討したところ履修希望者の見込が無いため廃止することにした。(23)
5	イギリスの社会と文化	2	2・3前	一般	選択	担当専任教員が退職したため、開講について検討したところ履修希望者の見込が無いため廃止することにした。(23)
6	教育とメディア	2	3	専門	選択	担当専任教員が退職したため、教育課程の見直しを行い、廃止することにした。(25)
7	教育哲学	2	2	一般	選択	担当専任教員が退職したため、教職課程の見直しを行い、廃止することにした。(25)
8	情報科教材研究2	2	2	一般	選択	教職課程の見直しを行い、廃止することにした。(25)
9	博物館情報論	2	2・3	一般	選択	博物館施行規則改正に伴い、教育課程の見直しを行い、廃止することにした。これに相当する科目は「デジタルアーカイブB」となる。(25)
10	日本美術史	2	2・3	一般	選択	博物館施行規則改正に伴い、教育課程の見直しを行い、廃止することにした。(25)

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止科目については、学生の英語科目への関心が希薄になっていることもあり、受講生が見込めないとした。学生へは新学期のオリエンテーション時に廃止科目を提示し、説明を行った。(23)
専門基礎科目群は科目数が多かったこともあり履修希望者が極端に少ない科目があったので、それらの科目を隔年開講としたところ、今年度は履修希望者が極端に少ない科目は改善がみられた。また3人の専任教員が退職したことに伴い、専任教員間で担当科目の見直しを行った。その際専門基礎科目群を中心に隔年開講とした。学生へはオリエンテーション時に説明を行っている。(25)

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.1}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	14,495㎡	0㎡	0㎡	14,495㎡				
	運動場用地	20,100㎡	0㎡	0㎡	20,100㎡				
	小 計	34,595㎡	0㎡	0㎡	34,595㎡				
	そ の 他	12,803㎡	0㎡	0㎡	12,803㎡				
合 計	47,398㎡	0㎡	0㎡	47,398㎡					
(2) 校 舎	専 用	14,609㎡	0㎡	0㎡	14,609㎡	大学全体			
	(14,609㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(14,609㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	23室	1室	1室	5室 (補助職員 0人)	3室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	経営情報学部 経営情報学科			47 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	図書、学術誌等の見直し による変更 (25) 図書、学術誌等の見直し による変更 (24) 東日本大震災による除却 のため変更 (23) 図書、学術誌等の見直し による変更 (22)	
	経営情報学部	88,849 [12,698] (77,552 [11,067]) (76,076 [10,996]) (73,290 [10,938]) (78,194 [12,123])	336 [86] (352 [89]) (331 [86]) (332 [86]) (336 [86])	2 [0] (2 [1]) (2 [1]) (2 [1]) (2 [0])	4,882 (4,691) (4,597) (4,378) (4,053)	6,111 (6,111)	10 (10)		
	計	88,849 [12,698] (77,552 [11,067]) (76,076 [10,996]) (73,290 [10,938]) (78,194 [12,123])	336 [86] (352 [89]) (331 [86]) (332 [86]) (336 [86])	2 [0] (2 [1]) (2 [1]) (2 [1]) (2 [0])	4,882 (4,691) (4,597) (4,378) (4,053)	6,111 (6,111)	10 (10)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	1,396㎡		238		102,472				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	1,776㎡		テニスコート4面		ゴルフ練習場1棟				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	8,000千円	10,000千円	10,000千円	
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	12,000千円	12,000千円	12,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,260千円	1,010千円	1,010千円	1,010千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学等の名称									備 考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
筑波学院大学									
経営情報学部 経営情報学科	4	200	-	800	学士 (経営情報)	0.63	平成22年度	茨城県つくば市 吾妻3丁目1番地	
情報コミュニケーション学部 情報メディア学科	4	-	-	-	学士 (情報メディア)	-	平成17年度		
国際交流学科	4	-	-	-	学士 (国際交流)	-	平成17年度		
平成22年度より 学生募集停止									
大学等の名称									備 考
東京家政学院大学大学院									
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
人間生活学研究科 生活文化専攻	2	10	-	20	学士 (人間生活学)	0.57	平成7年度	東京都千代田区 三番町22番地	
大学等の名称									備 考
東京家政学院大学									
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
現代生活学部									
現代家政学科	4	130	10	540	学士 (家政学)	1.01	平成22年度	東京都千代田区 三番町22番地	
健康栄養学科	4	120	-	500	学士 (家政学)	1.21	平成22年度		
生活デザイン学科	4	105	10	420	学士 (家政学)	0.99	平成22年度		
児童学科	4	120	5	370	学士 (児童学)	1.20	平成22年度	東京都千代田区 三番町22番地	
人間福祉学科	4	80	5	330	学士 (社会福祉)	0.53	平成22年度		
家政学部									
家政学科								東京都町田市 相原町2600番地	
家政学専攻	4	-	-	-	学士 (家政学)	-	昭和38年度	}	
管理栄養士専攻	4	-	-	-	学士 (家政学)	-	昭和38年度		
現代家政学科	4	-	-	-	学士 (家政学)	-	平成21年度	東京都千代田区 三番町22番地	
健康栄養学科	4	-	-	-	学士 (家政学)	-	平成21年度		
児童学科	4	-	-	-	学士 (家政学)	-	平成17年度		
住居学科	4	-	-	-	学士 (家政学)	-	昭和59年度	東京都町田市 相原町2600番地	
平成21年度より 学生募集停止									
キャンパス移転に 伴い所在地変更(23)									
平成22年度より 学生募集停止									

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「－」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<経営情報学部 経営情報学科>

(1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	吉田 眞澄	平成22年4月	学際科目B 情報技術と職業 情報化と社会 CG概論1 CG概論2 画像処理概論 3次元表現A 3次元表現B 人間の情報表現A 人間の情報表現B (332[86]) 卒業研究						
専	教授	垣花 京子	平成22年4月	数学 コンピュータ言語入門(B/マクロ) アルゴリズム 情報数学 データ分析と統計1 データ分析と統計2 eラーニングA eラーニングB Webコンテンツ 卒業研究						
専	教授	宮寺 晃夫	平成22年4月	教育とメディア 卒業研究 教職概論 教育学概論 教育哲学 比較教育制度論 道徳教育 教育方法論 教職実践演習 事前事後指導 教育実習	専任	教授	池口センリア	平成25年4月	教職概論 教育学概論	平成25年3月、宮寺教授退職のため、 教育課程の見直しを行い廃止(25)
					専任	教授	池口センリア	平成25年4月	比較教育制度論	平成25年3月、宮寺教授退職のため、 平成25年度より担当者変更(25)
					専任	教授	後任未定		道徳教育 教育方法論	平成25年3月、宮寺教授退職のため、 平成25年度より担当者変更(25)
					専任	教授	佐野 司	平成25年4月	教職実践演習 事前事後指導 教育実習	平成25年3月、宮寺教授退職のため、 平成25年度より担当者変更(25)
専	教授	石田 収	平成22年4月	報道と取材1 報道と取材2 国際経済とマスコミ1 国際経済とマスコミ2 経済と社会B1 経済と社会B2 マスメディアA マスメディアB メディア編集A メディア編集B マスコミュニケーション 卒業研究						
専	教授	坂本 要	平成22年4月	人文科学科目C メディアと文化 写真と文化 映像と文化A 映像と文化B 映像記録 卒業研究 博物館実習 アジアの文化と歴史 日本の祭りと芸能 日本の民俗						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	浜田 利満	平成22年4月	自然科学科目A 情報基礎B(表計算) 情報基礎C(インターネット) データベース1 データベース2 情報化とコミュニティ形成1 情報化とコミュニティ形成2 ロボットA ロボットB ロボットセラピー 卒業研究						
専	教授	右田 玲子	平成22年4月	情報基礎B(表計算) ユニバーサルデザイン1 ユニバーサルデザイン2 住宅CAD1 住宅CAD2 福祉住環境実務 福祉住環境システムA 福祉住環境システムB 自立生活デザイン 卒業研究						
専	教授	岩田 隆一	平成22年4月	人文科学科目C 観光事情1 観光事情2 旅行業務法1 旅行業務法2 旅行実務 観光情報1 観光情報2 マーケティングA マーケティングB サービスマーケティング 卒業研究						
専	教授	木下 知己	平成22年4月	数学 ビジネスコミュニケーション1 ビジネスコミュニケーション2 都市の経営A 都市の経営B 交通・流通の経済1 交通・流通の経済2 経営概論A 経営概論B 都市経済とビジネス 卒業研究						
専	教授	宮尾 真理子	平成22年4月	英文文書処理1 英文文書処理2 ビジネスIT活用A ビジネスIT活用B グローバルビジネス 卒業研究 実用英語A 実用英語B インターネット英語A インターネット英語B ビジネス英語A ビジネス英語B	専任 兼任	教授 講師	宮尾 真理子 千葉 洋平	平成25年4月 平成23年4月	実用英語A 実用英語B 英語B	平成25年度より元の担当者に変更(25) 平成23年度より担当者変更(23) 平成23年3月 波多野教授退職のため 平成23年度より担当者変更(23)
専	教授	大島 慎子	平成22年4月	観光心理学 国際観光政策 観光と国際理解 国際観光情報論 ホスピタリティマネジメント1 ホスピタリティマネジメント2 航空ビジネスA 航空ビジネスB ホテルマネジメントA ホテルマネジメントB 観光ビジネス 卒業研究	兼任 兼任 兼任 兼任 兼任	講師 講師 講師 講師 講師	若月 博延 田中 茂穂 藤野 公孝 杏掛 博光 石原 直 徳江 順一郎 石原 直 徳江 順一郎	平成24年4月 平成25年4月 平成24年4月 平成24年4月 平成25年4月 平成24年4月 平成25年4月 平成24年4月	観光心理学 国際観光政策 観光と国際理解 国際観光情報論 ホスピタリティマネジメント1 ホスピタリティマネジメント2 ホテルマネジメントA ホテルマネジメントB	担当講師辞任による担当者変更(25) 平成24年4月 大島教授が学長に就任したため、24年度より担当者変更(24) 担当講師辞任による担当者変更(25) 平成24年4月 大島教授が学長に就任したため、24年度より担当者変更(24)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	山野井 一夫	平成22年4月	情報基礎C(インターネット) 情報検索 コンピュータ言語入門A プログラミング(VB)1 プログラミング(VB)2 情報活用と危機管理 ネットワーク活用A ネットワーク活用B Webシステム 卒業研究						
専	准教授	高藤 清美	平成22年4月	自然科学科目B 自然科学科目C 情報検索 情報科学入門 コンピュータ言語入門D ビジネス実務 組込コンピューティングA 組込コンピューティングB コンピュータシステム 卒業研究		教授		平成22年4月		昇任により職名変更(22)
専	准教授	鈴木 則稔	平成22年4月	社会科学科目C 数学 証券アナリスト 金融A 金融B マクロ経済A マクロ経済B ミクロ経済A ミクロ経済B 金融経済分析 卒業研究						
専	准教授	木村 卓司	平成22年4月	人文科学科目A 社会科学科目B 学際科目B 学際科目D 経済と社会C1 経済と社会C2 経済安全保障1 経済安全保障2 国際ビジネスとカンントリー リスク概論 危機管理概論 国際政治経済 卒業研究						
専	准教授	古家 晴美	平成22年4月	人文科学科目C 情報基礎A(文書処理) 生活と情報1 生活と情報2 フードシステム1 フードシステム2 アグリビジネスA アグリビジネスB 食と農の経済 卒業研究 日本人の生活文化	兼任	講師	関場 亜利果	平成25年4月	情報基礎A(文書処理)	教員間の担当科目変更による(25)
専	准教授	金久保 紀子	平成22年4月	日本語A 日本語B 日本語聴解・会話A 日本語聴解・会話B 実践科目A 実践科目B 実践科目C1 実践科目C2						
専	准教授	小松 進	平成22年4月	人文科学科目A 情報基礎A(文書処理) 世界遺産A 世界遺産B 経済と社会A1 経済と社会A2 実践科目A 実践科目B インターンシップ ヨーロッパの文化と歴史 西洋美術史	兼任	講師	関場 亜利果	平成25年4月	情報基礎A(文書処理)	教員間の担当科目変更による(25)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	小野澤 ニッケー	平成22年4月	学際科目D ファッションとグローバル化1 ファッションとグローバル化2 観光と経済発展1 観光と経済発展2 経済協力和エスニック ビジネス1 経済協力和エスニック ビジネス2 労働移動と経済1 労働移動と経済2 実践科目C1 実践科目C2		教授		平成22年4月		昇任により職名変更(22)
専	講師	山本 麻子	平成22年4月	情報基礎B(表計算) デジタルアーカイブA デジタルアーカイブB イラストレーション1 イラストレーション2 グラフィックデザインA グラフィックデザインB デザイン基礎A デザイン基礎B 視覚伝達デザイン 卒業研究	専任 教授 浜田 利満 専任 教授 右田 玲子 兼任 講師 関場 亜利果 兼任 講師 野田 美波子 専任 講師 高嶋 啓 兼任 講師 中川 麻子 専任 講師 高嶋 啓		平成25年4月 平成25年4月 平成25年4月 平成25年4月 平成25年4月 平成25年4月 平成25年4月	情報基礎B(表計算) デジタルアーカイブA デジタルアーカイブB イラストレーション1 イラストレーション2 グラフィックデザインA グラフィックデザインB デザイン基礎A デザイン基礎B 視覚伝達デザイン 卒業研究	平成25年3月、山本講師退職のため、平成25年度より担当者変更(25)	
専	講師	高嶋 啓	平成22年4月	情報基礎A(文書処理) ゲームデザイン1 ゲームデザイン2 シナリオ1 シナリオ2 アニメと映像A アニメと映像B アニメーションA アニメーションB マンガ・アニメ 卒業研究	兼任 講師 黒田 拓哉 兼任 講師 池上 一郎 兼任 講師 野田 美波子		平成25年4月 平成25年4月 平成25年4月	情報基礎A(文書処理) ゲームデザイン1 ゲームデザイン2 シナリオ1 シナリオ2 アニメと映像A アニメと映像B	教員間の担当科目変更による(25)	
専	講師	佐野 司	平成22年4月	学際科目A ライフパンと認知心理 人間の情報処理A 人間の情報処理B 認知心理と情報活用 卒業研究 実践科目A 実践科目B 自己分析と評価 教育心理学						
専	講師	松岡 東香	平成22年4月	自然科学科目C 情報基礎C(インターネット) 情報検索 情報倫理 情報数理解析 プログラミング(C言語)A プログラミング(C言語)B 情報調査法A 情報調査法B システムデザイン 卒業研究		准教授	松岡 東香	平成25年4月		昇任により職名変更(22)
専	講師	井上 愛	平成22年4月	学際科目A 学際科目B スポーツA スポーツB テニスA テニスB スポーツとマスメディア1 スポーツとマスメディア2 スポーツ産業A スポーツ産業B スポーツビジネス 卒業研究	兼任 講師 齊藤 具子 兼任 講師 井上 庸 早坂 一成 兼任 講師 石川 慎之助		平成25年4月 平成25年4月 平成22年4月 平成25年4月	学際科目A スポーツA スポーツB テニスA テニスB スポーツとマスメディア1 スポーツとマスメディア2 スポーツ産業A スポーツ産業B スポーツビジネス	平成25年3月、遠藤講師退職のため、平成25年度より担当者変更(25) 平成25年3月、遠藤講師退職のため、平成25年度より担当者変更(25) 育児休業期間の兼任教員採用(22) 育児休業終了による変更(23) 平成25年3月、遠藤講師退職のため、平成25年度より担当者変更(25)	

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	石田 千里	平成22年4月	日本語A 日本語B 日本語読解・作文A 日本語読解・作文B 実践科目A 実践科目B 実践科目C1 実践科目C2						
兼任	講師	浅野 幸彦	平成23年4月	メディアリテラシーA メディアリテラシーB						
兼任	講師	荒木 勉	平成23年4月	機械CAD1 機械CAD2						
兼任	講師	飯田 浩之	平成22年4月	教育社会学						
兼任	講師	宇留野 拓也	平成23年4月	マンガA マンガB	兼任	講師	塚本 博義	平成24年4月	マンガA マンガB	担当講師辞任による、担当者変更(24)
兼任	講師	榎 陽介	平成23年4月	博物館概論						
兼任	講師	榎澤 幸広	平成22年4月	社会科学科目A	兼任	講師	牧野 力也 伊藤 純子	平成25年4月 平成22年4月	社会科学科目A	担当講師辞任による、担当者変更(25) 担当講師辞任による、担当者変更(22)
兼任	講師	大谷 奨	平成23年4月	生徒・進路指導法	兼任	講師	新井 雅	平成25年4月	生徒・進路指導法	担当講師辞任による、担当者変更(25)
兼任	講師	木村 武雄	平成23年4月	国際経済A 国際経済B						
兼任	講師	久保田 章	平成23年4月	英語学概論 英語音声学	兼任	講師	小早川 真由美	平成23年4月	英語学概論	担当講師辞任による、担当者変更(23) 受講者が見込めないため、平成23年度より廃止(23)
兼任	講師	桑村 佐和子	平成23年4月	生涯学習概論						
兼任	講師	考壽 聡	平成23年4月	映像編集・制作A 映像編集・制作B	兼任	講師	野田 美波子	平成23年4月	映像編集・制作A 映像編集・制作B	担当講師辞任による、担当者変更(22)
兼任	講師	権田 恭子	平成23年4月	キャラクターデザインA キャラクターデザインB ポップカルチャーA ポップカルチャーB						
兼任	講師	篠崎 健一	平成23年4月	情報科教材研究1 情報科教材研究2 情報教育概論						
兼任	講師	島田 佳明	平成22年4月	社会科学科目C						
兼任	講師	関場 亜利果	平成23年4月	DTP1 DTP2						
兼任	講師	立石 亨	平成23年4月	e-ビジネス1 e-ビジネス2						
兼任	講師	茅野 理恵	平成23年4月	教育相談	専任	講師	佐野 司	平成25年4月	教育相談	担当講師辞任による、担当者変更(25)
兼任	講師	千葉 隆司	平成23年4月	博物館経営論 博物館情報論				平成24年4月	博物館教育論	博物館施行規則改正による新規科目(24)
兼任	講師	津賀 宗充	平成23年4月	情報科教育法1 情報科教育法2	兼任	講師	齋藤達也	平成23年4月	情報科教育法1 情報科教育法2	担当講師辞任による、担当者変更(23)
兼任	講師	都築 千重子	平成23年4月	日本美術史						
兼任	講師	出口 正義	平成23年4月	会社法						
兼任	講師	中村 等	平成23年4月	経営シミュレーション1 経営シミュレーション2	兼任	講師	柳 承辰	平成23年4月	経営シミュレーション1 経営シミュレーション2	担当講師辞任による、担当者変更(23)
兼任	講師	二井矢 由美子	平成23年4月	プレゼンテーション						
兼任	講師	仁木 雄三	平成22年4月	自然科学科目B						
兼任	講師	根津 朋実	平成22年4月	特別活動研究						
兼任	講師	橋浦 洋志	平成22年4月	人文科学科目C						
兼任	講師	樋口 浩義	平成23年4月	コンピュータ会計 簿記会計A 簿記会計B						
兼任	講師	広田 真人	平成23年4月	経営財務						
兼任	講師	福田 敏文	平成23年4月	キャリアデザインA キャリアデザインB キャリアデザインC キャリアデザインD	兼任	講師	藤枝 玲子	平成25年4月	キャリアデザインA キャリアデザインB キャリアデザインC キャリアデザインD	担当講師辞任による、担当者変更(25)
兼任	講師	藤井 有起	平成22年4月	自然科学科目A						
兼任	講師	古川 泰男	平成23年4月	知的財産権	兼任	講師	吉井 隆明	平成23年4月	知的財産権	担当講師辞任による、担当者変更(23)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	星野 豊	平成22年4月	社会科学科目A						
兼任	講師	本田 敏明	平成22年4月	視聴覚教育法						
兼任	講師	松本 浩一	平成22年4月	人文科学科目A						
兼任	講師	森 由紀子	平成24年4月	学際科目D						
兼任	講師	森田 司郎	平成22年4月	教育課程論						
兼任	講師	安中 みふゆ	平成24年4月	学際科目D						
兼任	講師	山下 幹也	平成22年4月	自然科学科目B						
兼任	講師	山岸 宏	平成22年4月	自然科学科目A						
兼任	講師	山根 誠一郎	平成23年4月	財政学						
兼任	講師	若月 博延	平成23年4月	経営戦略 経営分析	兼任	講師	柳 承辰	平成25年4月	経営戦略 経営分析	担当講師辞任による、担当者変更(25)
兼任	講師	鷺津 浩子	平成23年4月	アメリカ文学史						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
17	9	6	0	32	17	8	3	0	28	70	0
(17)	(9)	(6)	(0)	(32)	[0]	[Δ1]	[Δ3]	[0]	[Δ4]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	波多野 葉子	自己都合
2	教授	宮寺 晃夫	定年退職
3	講師	山本 麻子	自己都合
4	講師	井上 愛	自己都合

(注)・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成23年3月に退職する波多野教授は英語科目担当であったが、必修科目「英語B」は他の英語科目担当専任教員が担当するので、全く影響が無いと考える。また選択科目「リーディングA・B・C」「実用英語C・D」は、兼任講師が担当する。ただし波多野教授の専門分野の科目「英米文学基礎演習1・2」「イギリスの社会と文化」「イギリス文学史」は、学生の英語への関心が薄れていることもあり、受講生が見込めないと判断し、廃止することにした。これらについては、オリエンテーション時に学生への周知を行った。(23)

平成25年3月に退職する宮寺教授は教職課程の専任教員であったが、「教職実践演習」「事前事後指導」「教育実習」はもう一人の課程の専任教員が担当し、「教職概論」「教育学概論」「比較教育制度論」は課程の新たな専任教員が担当する。「教育哲学」は選択科目だったこともあり、履修希望者が少なかったことから廃止する。「道徳教育」「教育方法論」は兼任教員を採用する予定である。(25)

平成25年3月に退職する山本講師はデザイン系科目の担当であったが、同分野の専任教員が専門科目（「グラフィックデザインA・B」「視覚伝達デザイン」「卒業研究」）を担当することになっており、全く影響が無いと考える。山本講師自身も、兼任教員として「デザイン基礎A・B」を担当する。また「デジタルアーカイブA・B」「イラストレーション1・2」は兼任教員を採用した。(25)

平成25年3月に退職する遠藤講師はスポーツの実技及びスポーツビジネス系科目の担当であったが、いずれの科目も兼任教員を採用している。(25)

これらは、オリエンテーション時に学生への周知を行っている。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (23年3月)	筑波学院大学経営情報学部経営情報学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、今後の定員の在り方について検討すること。	AO入試（セミナー方式）や奨学生指定校推薦入試などを導入し学生確保に努め、平成23年度の入学者は139名で、入学定員充足率が0.69倍となった。なお、平成22年度は入学定員充足率は0.53倍であった。	現在、実施中の「経営改善計画」（平成22年3月理事会決定）を基に、平成26年度において、学生定員を充足させることを目指していく。 なお、平成24、25年においては、段階的な入学人数値を目標とするが、基本的には、少しでも定員充足に近づく努力を行う。
設置計画履行状況 調 査 時 (24年3月)	筑波学院大学経営情報学部経営情報学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、今後の定員の在り方について検討すること。	センター入試利用入試を導入し学生確保に努め、平成24年度の入学者は165名で、入学定員充足率が0.82倍となった。なお、入学定員充足率は平成22年度には0.53倍、平成23年度には0.69倍であり、定員には満たなかったものの募集状況の改善が計られた。	平成25年度入学者については、入学定員200名を確保するべく、前年度に引き続き最大限の努力を行う。
設置計画履行状況 調 査 時 (25年2月)	筑波学院大学経営情報学部経営情報学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	在学生の活動報告も含めた高校訪問の拡充、高校生の参加意識を高めるオープンキャンパスの企画、入試方法のさらなる多様化などを積極的に進めた。 その結果、平成24年度入学者は165名となり、0.8倍強の充足率となった。 しかし、平成25年度入学者は、再び0.7倍を下回った。	入学試験の種類は、推薦、AO、センター及び一般と種類が多く、受験生の受験選択支は豊富である。今年度は、特に指定校推薦入試と奨学生指定校推薦の差別化を図り推薦入試の活性化を目指す。全ての学生に教職員の指導によって専門性と就業力がつく教育方針を訴求し、平成25年9月までに、現カリキュラムを総点検し、社会ニーズと学生ニーズに即応させるために、必修科目とコース科目をより就業力養成に重点を置いて改編する。さらに、高校訪問、オープンキャンパスの在り方については、より具体的なメッセージを発信できるように準備し、ウェブサイトも根本から見直し分かり易い表現に改善していく。

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<経営情報学部 経営情報学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成22年3月に「FD・SD検討委員会」として委員会を発足し、4月に名称を「FD・SD委員会」と改め、正式稼働を開始した。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

委員会は、月1回定期開催されており、構成員は、学部長を委員長として各学科主任3名、委員長が指名した教員2名、総務課長となっている。

c 委員会の審議事項等

委員会の審議は以下のとおりである。

- ・ 教育の改善・向上を目指す活動の実施
- ・ 研究・実践的なものを含めた実績の推進と発信
- ・ 教員相互の授業公開・授業改善
- ・ 外部機関での教育の研修
- ・ 教育の改善・向上のための講演会の実施

筑波学院大学FD・SD委員会規則

（目的及び設置）

第1条 筑波学院大学自己点検・評価運営委員会規則第8条に基づき、授業の改善、教育方法の工夫、教育、事務サービスの向上、業務等の改善等のため、FD・SD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（任 務）

第2条 委員会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事項の企画・推進を図ることを任務とする。

- (1) 教育研究及び授業改善のための基本方針の策定に関する事項
- (2) 研修会及び講習会の開催に関する事項
- (3) 教員の教授活動相互研鑽に関する事項
- (4) 学生の勉学能力の育成に関する事項
- (5) 職員の業務等の改善に関する事項

(6) その他委員会が必要と認めた事項

(委員会の構成)

第3条 委員会は、次の者をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 学部長
- (3) 学生部長
- (4) 学科主任
- (5) 事務局長
- (6) 企画総務グループ課長

2 委員会は、前項に掲げる者のほか、必要と認める者を加えることができる。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、学部長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員会は、委員以外の者に出席を求め、その意見を聞くことができる。

(雑 則)

第6条 この規則に定めるもののほか、この規則の運用のために必要な事項は、別に定める。

(事 務)

第7条 委員会の事務は、企画総務グループにおいて処理する。

附 則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

② 実施状況

a 実施内容

(1) 教育の改善・向上を目指す活動の実施

- ・今回確認された活動内容も含めて、既存の連絡会の内容と実態を把握するため、全教員に対しアンケートを実施した。
- ・資格取得支援に関しては、取得可能な資格、支援体制を調査している。
- ・調査票の提出締切は4月26日(月)、調査内容は集計し、今後、委員会を経て教授会に報告する。
- ・過去5年間実施した授業改善を総括するため、授業改善計画報告書に変更を加え、「授業改善アンケート」を作成することとした。データ収集・整理後、平成23年5月の教授会で報告できるよう準備をしている。(23)
- ・前記アンケートと同内容のものを、3～5名程度の教員に授業改善に関するヒアリングを行い、平成22年10月に行われた認証評価の資料とした。(23)
- ・6月に実施した学長と学生との対話集会の内容から、FD・SD委員会で検討可能なものがあるか確認するため、学生委員長にFD・SD委員長が資料の提出を求めることとした。(24)

(2) 教員相互の授業公開・授業改善

- ・教務委員会で授業改善のアンケートをFD・SD委員会の業務とするか検討している
- ・従来実施している授業改善アンケートのデータフィードバックは非公開としていたが、この運用方法について確立して行くため、フィードバックに向け検討していくこととなった。(23)
- ・平成17～21年度における授業改善アンケートのデータ集計を行い、今後の授業改善の参考資料とすることとした。また、22年度以降のデータ集計は、単年度でまとめていくこととなった。(24)
- ・平成17～21年度における授業改善アンケートの公開は、HPアップを早急に行う準備を整えることとなった(25)
- ・平成22～23年度における授業改善報告は、本委員会で内容整理を行い、本学のウェブ等で公表する手法を事前に教授会に報告することとなった(25)

(3) 教育の改善・向上のための講演会の実施

- ・FD活動の一環として、今年度第一回のFD・SD研修会を実施する。茨城大学 曾我日出夫氏に講演を依頼する。
(演題は、「確かな学力の向上を目指す基礎教育」)
- ・FD活動の一環として、22年度は3回のFD・SD講演会を実施した。(23)

第1回 「確かな学力の向上を目指す基礎教育」 茨城大学 曾我日出夫氏

第2回 「高等教育機関における障害のある学生の支援」 本学カウンセラー大島由之氏、茅野理恵氏

第3回 「小規模大学教職員の課題」 本学院改革推進本部アドバイザー 上野久二氏

・FD・SD活動の一環として、23年度はFD・SD研修会を2回実施した。(24)

第1回「2011年度入試結果報告ならびに学生募集環境の変化について」

進研アド企画営業部長 尹 錫洋氏

第2回「学生を引き付ける授業実践方法」 白鷗大学 赤堀 侃司氏

・FD・SD活動の一環として、24年度はFD・SD研修会を2回実施した。(25)

第1回「大学改革と教職協働」 追手門学院大学社会学部 教授 小畑 力人氏

第2回「若者たちの権利と責任」 弁護士・学校法人東京家政学院理事 清水 幹裕氏

b 実施方法

上記実施内容(1)のとおり実施した。また第一回FD・SD研修会を5月に実施する予定である。

上記実施内容(1)のとおり実施した。また平成22年度FD・SD研修会は、上記(3)のとおり講演を実施した。(23)

上記実施内容(1)のとおり実施した。また平成23年度FD・SD研修会は、上記(3)のとおり講演を実施した。(24)

上記実施内容(2)のとおり実施した。また平成24年度FD・SD研修会は、上記(3)のとおり講演を実施した。(25)

c 開催状況(教員の参加状況含む)

平成22年7月20日に第2回FD・SD委員会開催した。(出席者 教員5名、事務職員1名、欠席者1名)(23)

平成22年9月2日に第3回FD・SD委員会開催した。(出席者 教員7名、事務職員1名、欠席者0名)(23)

平成22年9月27日に第4回FD・SD委員会開催した。(出席者 教員6名、事務職員1名、欠席者1名)(23)

平成22年10月28日に第5回FD・SD委員会開催した。(出席者 教員5名、事務職員1名、欠席者1名)(23)

平成22年12月16日に第6回FD・SD委員会開催した。(出席者 教員4名、事務職員1名、欠席者2名)(23)

平成23年1月10日に第7回FD・SD委員会開催した。(出席者 教員3名、事務職員1名、欠席者3名)(23)

平成23年2月7日に第8回FD・SD委員会開催した。(出席者 教員5名、事務職員1名、欠席者2名)(23)

平成23年6月2日に第1回FD・SD委員会を開催した。(出席者 教員6名、事務職員1名、欠席者1名)(24)

平成23年7月7日に第2回FD・SD委員会を開催した。(出席者 教員4名、事務職員1名、欠席者2名)(24)

平成23年9月1日に第3回FD・SD委員会を開催した。(出席者 教員4名、事務職員1名、欠席者1名)(24)

平成23年10月6日に第4回FD・SD委員会を開催した。(出席者 教員5名、事務職員1名、欠席者1名)(24)

平成23年10月31日に第5回FD・SD委員会を開催した。(出席者 教員6名、事務職員1名、欠席者0名)(24)

平成24年2月2日に第6回FD・SD委員会を開催した。(出席者 教員6名、事務職員1名、欠席者0名)(24)

平成24年3月1日に第7回FD・SD委員会を開催した。(出席者 教員5名、事務職員1名、欠席者1名)(24)

平成24年4月19日に第1回FD・SD委員会を開催した。(出席者 教員6名、事務職員1名、欠席者1名)(25)

平成24年5月10日に第2回FD・SD委員会を開催した。(出席者 教員5名、事務職員1名、欠席者2名)(25)

平成24年8月2日に第3回FD・SD委員会を開催した。(出席者 教員6名、事務職員1名、欠席者1名)(25)

平成24年9月5日に第4回FD・SD委員会を開催した。(出席者 教員6名、事務職員1名、欠席者1名)(25)

平成24年10月4日に第5回FD・SD委員会を開催した。(出席者 教員7名、事務職員1名、欠席者0名)(25)

平成25年3月7日に第6回FD・SD委員会を開催した。(出席者 教員6名、事務職員1名、欠席者1名)(25)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

上記(2)のとおり検討している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年2回(前期末、後期末)実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

専任教員には公開する。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置初年度における入学者の確保状況について評価すると、入学定員に対する入学者の確保状況は、53.5%となっており、定員未充足の状況である。次年度以降定員を充足させるため、受験生に対する認知度を上げるために広報面での対策、特に高校での進学指導を通じての高校生への経営情報学部の情報提供やオープンキャンパスに多くの高校生に参加促進、模擬授業等を通して経営情報学部の内容をの告知等の検討を行っている。

平成23年度における入学者の確保状況について評価すると、入学定員に対する入学者の確保状況は、69.5%と前年度に比べ増加したものの、70%以下にとどまった。平成24年度入試においては、AO入試（セミナー方式）や奨学生指定校推薦入試の告知の徹底とセンター入試の導入などを図り入学定員確保を目指すこととしている。(23)

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成22年10月31日 公表

・平成22年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の認証評価を受審し、平成23年3月に「認定」の評価を受けた報告書を通常本学で公表している自己評価報告書に置き換え、平成23年4月11日に公表した。(23)

b 公表方法

・上記自己評価報告書を刊行し、近隣大学、企業および希望のある学生に配布する。(23)
・大学ホームページ上に公開する。

③ 認証評価を受ける計画

・平成22年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で準備を始めている。

・平成22年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の認証評価を受審し、平成23年3月に「認定」の評価を受けた。(23)

・平成24(2012)年度からの新しい評価基準（日本高等教育評価機構）を学内関係者へ承知した。(24)

・自己点検・評価委員会規則の関連部分の一部改正をした。(24)

・各種委員会の自己評価報告書（学内用）の年度単位の作成とデータを蓄積した。(24)

・各種委員会の自己評価報告書（学内用）の年度単位の作成とデータを蓄積した。

平成23～24年度各種委員会の自己評価報告書（学内用）のHP公開用データを作成した。(25)

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(2013年 6月 30日)